

		多機関協働事業								
業務プロセス	包括的相談支援事業者などからの連携	支援関係機関との調整・連携				支援関係機関との調整・連携	終結	多機関協働機関の業務全体における課題	重層的支援に対する研修体制の課題	
		相談受付	アセスメント	プラン作成	支援の実施					
		原則として本人に多機関協働事業の相談受付申込書を記入してもらい申込を得る	包括的相談支援事業者などに必要な情報収集を依頼し、収集した情報などをもとにインテーク・アセスメントシートにまとめる	支援関係機関間の円滑な連携体制のもと、アセスメントの結果を踏まえ、役割分担や支援の目標・方向性を整理したプランを作成する	支援関係者がチーム一体となりプランに基づく支援が円滑に進むよう支援を行う	関係者情報を把握し、的確に連携する	本人や世帯の課題が整理され、支援の見通しがつき、支援機関の役割分担の合意形成ができた段階で一旦多機関協働のかかわりは終結			
昨年度ヒアリング/今年度アンケート結果(抜粋)	課題	支援が困難なケースを数多く扱う必要があるため関係機関が多く、それぞれに対し柔軟な対応が必要	経験年数にかかわらず、分な対応が求められるため経験の浅い方に向けた支援が必要	知見や経験が足りず判断に自信がない判断を後押ししてくれるような情報の不足	制度、類似事例、社会資源などの知見を増やしたいが、情報が集約されておらず探るのが難しい	自身の判断や対応が適切かどうか確認する機会や手段がない	1件ごとにケースが異なり複雑なため、重層的支援会議に呼ぶべき関係者の判断や適切な集まりの探し方が難しい	支援内容は地域までの範囲が多く、メンタル特性が難しい上に成功体験も少ない	忙しいで上司や先輩との相談や振り返りが十分にできていない	経験年数に関わらず十分な対応が求められる経験の浅い多機関協働事業者への支援が必要
	ニーズ	そのそも支援の仕組みやスタッフが多岐にわたってあがってくる	本人にとって支援が受けやすいようにしてほしい	ある程度の経験が積めるようになりたい	適切な支援方法を知りたい	重層的支援会議に活用してほしい		メンタル特性が難しい	メンタル特性が難しい	メンタル特性が難しい
課題										
AIによる解決アイデア例		包括的相談支援事業者からの相談内容をもとに、不足している観点や他機関への連携すべき情報を引き出すための訓練をサポート		支援方針の整理に向け、社会資源・制度に関する知見を深めるためのサポート	包括的相談支援事業者が把握している事業状況を引き出すための質問観点のアイデア出しをサポート					重層的支援会議で参加者から意見や知見を引き出すための質問観点のアイデア出しをサポート